

平成 19 年度第 2 回(通算第 35 回)「市民の皆さんとランチで対話」概要

団 体 名	二ツ井町連合婦人会
開 催 日 時	平成 1 9 年 5 月 8 日 (火) 正 午 ~ 午 後 1 時 2 0 分
開 催 場 所	二ツ井町庁舎 庁議室
出 席 者	二ツ井町連合婦人会 9 人 (能代市 : 市長、生涯学習課長、地域情報課長)
案 件	環境のまちづくりについて 他
会議の概要 (主な発言)	<p>(...二ツ井町連合婦人会の皆さん ...市長)</p> <p>1 環境のまちづくりについて これまでも、マイバック運動、生ごみ堆肥化、廃食用油回収等行政の取り組みに協力してきたが、さらに身近に協力できることはないか。 「環境のまちづくり」は市の大きな柱の一つ。 今年度、「環境基本計画」の策定のほか、バイオマスタウン構想の立ち上げを目指しているところ。 来年度から新たに「プラスチックごみの分別の徹底」も始まり、「ごみのもとの発生の抑制」・「リユース」・「リサイクル」等に協力いただきたい。</p> <p>2 ごみの処理について 毎年地域住民が、市道の清掃(ごみ拾い、側溝泥上げ等)を行うが、多くの不法投棄がある。市で人づくり等の対策を考えられないか。 市内でも不法投棄はあり、実態は承知している。監視員がパトロールしているが、1 人のため行き届かない。市民個々が互いに注意し合うことが必要。</p> <p>3 交通弱者(お年寄り)の交通手段確保について 市街地巡回バス「はまなす号」運行や「シルバーパス券」交付は、年配者の交通手段確保のためにも、今後も事業の継続を。 巡回バス運行、シルバーパス券発行を止めるつもりはない。 はまなす号は増便要望が多く、6 月から試験的に朝夕 1 便ずつ増とし、コースの工夫も検討してもらっている。</p> <p>4 国民健康保険特別会計予算について 国保特別会計は、特に高齢者に係る医療費が多い。 身近にできることは、医療費抑制のために私達も努力していきたい。 医療費や福祉関係費用を抑えることが、高齢化社会問題の一番の解決方法。 できるだけ健康で長生きできるような対策・予防を進めたい。 デイサービスについても、デイ施設に行って楽しむだけではなく、市民農園などを利用した「青空デイサービス」なども考えたい。</p>

5 イオンの出店について

消費者は、いいものを安く買いたい。店舗が増えると店舗同士の競争で商品の値段も下がり、消費者には良いこと。イオンの出店を進めてほしい。

イオン出店で既存の商店街は多少のマイナスになり、反対ができるのはやむを得ないが、市民の利便性等プラス要素を考えて農振解除に GO サインを出した。

市外へ買い物に出る人が多いが、逆に能代に来る人を増やし、東能代に若者向け、街中に中高齢者向けの店と両方あれば、若者達の流出を防げるのではないか。

6 ニツ井小学校の跡地の利用

特養「よねしろ」は「子供達の声が聞こえるように」ニツ井小の近地に建設された。統合移転後の旧ニツ井小は、この経緯を考慮した活用方法の検討を。

H23 年 3 月の新校舎完成までに地域の意見を聴き、庁内に検討会議を設置し跡地活用を考えたい。「よねしろ」との交流は、子供の情操教育にも有用であり、学校や教育委員会とも相談し、継続したい。

7 ニツ井地域の上水道整備計画早期促進について

ニツ井地域の安全な飲料水供給のため、早期の上水道整備計画実現を。

合併処理浄化槽設置には土地が必要。土地がない場合どうしたらいいか。

一部の水道水から有害物質が検出され、心配をかけている。上水道整備について以前アンケート調査を行ったが反対がほとんど。職員が必要性的について説明している。

合併浄化槽は土地問題があるので、家の改築等の際の設置をお願いしたい。水と下水は快適な生活に不可欠であり、財政は厳しいが整備していきたい。

8 敬老式について

各地区敬老式は高齢者の楽しみで、継続してほしい。

対象年齢も段階的に引き上げ、H24 年には 75 歳にするが、式は今後も継続していきたい。